

中学校体育館ステージ設計にかかる提案について

歴史 自然 文化 のまち
www.city.sakura.lg.jp

提案理由

【建築面】

- ①今回の体育館設計は、配置計画、佐倉市では初めての横長タイプの体育館となり、ステージとアリーナとの距離は物理的に近くなることから、従来の体育館に比べてステージ高さを低く抑えることが可能となります。
- ②建築基準法の規制により、北側に配置されたステージ部分の屋根の高さを極力低く抑えることが必要です。
- ③本来、バリアフリーの観点からは、あえて段差を作ることなく、障害者・老人等の区別なく、スムーズにステージに上げられる構造が最も望ましいと考えます。
- ④ステージ部分は、体育館の中でも比較的大きな面積を占めることから、舞台としての用途以外の日常においても有意義に使える構造とすることが望ましいと考えます。
- ⑤現在の体育館は、一般開放や地元住民のイベントとしても使われるケースが多くなってきており、ステージ部分も含めて多目的・機能的に使える構造とすることが望ましいと考えます。
- ⑥さらには、体育館は、非常時における避難所としての機能を持つことから、極力フラットな構造として、アリーナとステージ部分が一体として活用される構造が望ましいと考えます。

【設備面】

- ①これまで舞台装置には多額の設備投資(舞台吊物・幕類・演出照明・調光設備等で総額約1,500万円程度)が行われてきていますが、実際の使い勝手を考慮した機械設備配置の再検討が必要と考えます。

提案内容

- ①ステージの高さをこれまでの、**1,000mmから500mm程度**に下げる。
- ②スロープは、常設とする。
- ③舞台装置は、真に実情に即したものとして厳選して設置する。
- ④これまでの閉塞的・固定的なステージではなく、開放的で活用性の高いステージとする。

効果

- ①**バリアフリー構造**とすることができる。
- ②生徒にとって、開放的で**機能的な空間**を提供できる。
- ③教職員にとっても、使いやすい合理的な構造とすることができる。
- ④ステージとアリーナとの距離、すなわち人と人との距離を縮めることができる。
- ⑤**防災避難所**としての機能がアップする。
- ⑤全体工事費を下げるができる。

その他提案

- ①ステージ高さを抑えることにより、これまで下部に収納していたパイプ椅子をスタッキングチェアに変更する。予算的には、350万円程度のアップとなるが、機能性の向上、生徒教職員の労力低減、さらには、重いパイプ椅子を運ぶ時に生じる床材への傷の発生を抑制することができる。(なお、舞台装置経費の低減によって、本費用の吸収は可能と考えられます。)

～以上の提案につきまして、ご意見をお聞かせ下さい。

また、ステージを使って行われる学校行事の具体例、及びそれに伴う最低限必要となる舞台装置をお聞かせ下さい～



バリアフリー化(低床型ステージ)・舞台装置見直し